



Guide to SuwaCity Council

No.66

平成28年(2016)

11月1日

市議会だより

目次

常任委員会報告	2
決算審査特別委員会報告	4
代表質問	6
一般質問	9
審議結果(議案・請願・陳情)	15



元気に走りまわる子どもたち(きみいち保育園)

9月定例会市議会

平成28年9月定例会は、8月29日から9月16日まで行われました。

今定例会では、報告3件、同意4件、諮問2件、議案9件、認定7件、陳情1件、議員議案2件が審議されました。

8月29日 本会議(議案説明、請願・陳情付託)

9月 1日 本会議(議案質疑、付託)

5日 本会議(代表質問、一般質問)

6日 本会議(一般質問)

8日 決算審査特別委員会

9日 決算審査特別委員会

12日 決算審査特別委員会

13日 常任委員会

16日 本会議(委員長報告、採決)

衣ヶ崎橋28年度内完成へ5200万円補正

◎工事請負契約をするについて

《議案の内容》

平成28年度諏訪市防災行政無線デジタル化整備工事の請負契約について。今回の工事は、8月18日に一般競争入札が行われ、6億9354万3600円でNEC・丸登電業特定建設工事共同企業体が落札し、8月24日に仮契約がなされている。工期は平成29年3月。

《主な質疑》

問 参加申請の段階で1共同企業体が不認定になっている理由は。

答 代表会社以外の会社が、構成要件である広域案件の格付けを満たしていないので、不認定となった。

問 入札参加申請者の中で1共同企業体が辞退している理由は。

答 辞退理由は、今回の機器仕様に対し、工期内での対応不可能と

判断したためとのこと。

《採決の結果》

討論はなく、全会一致可決。

◎平成28年度諏訪市一般会計補正予算(第2号)

《議案の内容》

主な事業等は、情報セキュリティ強化対策に要する経費1億4984万3千円、固定資産台帳整備業務委託料146万9千円、庁舎照明機器LED化工事費100万円、有賀峠デマンド交通に要する経費169万4千円、SUWAプレミアム販売創生事業費924万6千円、衣ヶ崎橋に係る追加工事費等5200万円など。補正額は2億4369万円。

《主な質疑》

問 情報セキュリティ強化対策業



年度内完成の衣ヶ崎橋

議案審査 社会文教委員会

諏訪市清掃センター条例の全部改正

◎諏訪市清掃センター条例の全部改正

《議案の内容》

諏訪湖周クリーンセンター稼働により、諏訪市清掃センターを構成する施設であるごみ焼却施設を閉鎖することに伴い、継続する構成施設である剪定木等リサイクル

施設に係る条例の全部を改正するもの。条例の名称を「諏訪市剪定木等リサイクル施設条例」に改正し、施設の設置、名称及び位置、事業、搬入資格者、搬入の制限、処理手数料について定めた。施行日は平成28年12月1日。

《採決の結果》

討論はなく、全会一致可決。

◎平成28年度諏訪市一般会計補正予算(第2号)

《主な質疑》

問 市外で発生した剪定木等を市内で受け入れる能力は。

答 処理能力は1日5tであり、現在は1日1・5t程度搬入しているの、能力はある。

《議案の内容》

総務費では、個人番号カードの普及促進を図るための臨時職員雇用費用110万5千円。衛生費では、すわっこランド浴室の経年劣化による危険個所の修繕費として340万、諏訪湖周クリーンセンター整備工事におけるインフラスライド条項適用に伴う工事費の増額分を構成市町村で負担するため、湖周行政事務組合建設費負担金と

務委託料の5市町村の負担割合の根拠は。
 答 諏訪市は各学校の事務も同じシステムを使っており、今回のセキユリテイ対策構築に入れるよう、他市町村へ依頼をした。基本的に広域連合は均等割2割、人口割8割の負担割合であるが、今回は人口割を端末台数割として計算したため、諏訪市は教員用の約300台分が他市町村より多くなってし

まった。
 問 固定資産台帳整備業務委託のシステムは、財政だけでなく他の部署でも共通で利用できる体制になるのか。
 答 今回のシステムは、新地方公会計制度に対応するよう作っていくものである。最終的にはGISと連携するよう持っていきたいし、その様に整備している。
 問 SUWAプレミアム販路創生

事業費において、友好都市の台東区との連携などの考えは。
 答 昨年も台東区のイベントでSUWAプレミアムの商品を販売した。職人のまちであるため、関心のある方に注目され、販売につながった。今後、戦略を練りながら連携していきたい。
 問 橋梁長寿命化事業費において、国の補助金が減額されたという通知はいつごろわかるのか。

答 通常国からの内示は4月に入ってからが一般的だが、予算成立時期にも左右される。今年は大規模補正があり、その中に橋梁関係も入っているのではとの期待があったが、入っていないかつたため、年度内に早く開通させるためにも補正をお願いするものである。
 《採決の結果》
 討論はなく、全会一致可決。

第3回(9月)定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 増澤 義治

して220万5千円の補正。教育費では、諏訪市立小中学校再編基本構想検討委員会の委員謝礼として23万3千円、教職員住宅を公売するにあたり、更地にするための解体費用251万1千円、9月末に上野・後山線バス路線が廃止されるため、遠距離生徒通学のためのタクシー借り上げ料として57万5千円、博物館所蔵の刀剣資料を修復するための資料修復・整理委託料として10万円、小和田地区田宿分館のバリアフリー工事に対する補助金13万1千円。



柱が腐食したすわっこランド浴槽

《主な質疑》

問 すわっこランドのメンテナンス休業は、すべて間に合うのか。
答 5日間あり、事前に準備を進めるので間に合う。

問 小和田地区田宿分館のバリアフリー化について、補助金の申請状況は。

答 補助金の申請は毎年あるわけではないが、ここ5年で5件ほどある。

《採決の結果》

討論はなく、全会一致可決。



ecoポッポのマスコットキャラクター えこぼん

議案審査 決算審査特別委員会

第3回(9月)定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 牛山 智明

27年度決算関係議案9件を認定・可決

当委員会は会期中の9月8日、9日、12日の3日間にわたり、全委員出席のもと、副市長、会計管理者及び各部課長、局長、次長、

室長、係長の出席を求め、平成27年度の決算書、成果説明書、不用額説明書等により全部局の説明を受け、慎重に審査を行った。

《決算の状況》

5ページ下に記載

《決算に対する主な意見》

1 総体の意見として
 (1)多岐にわたる事業が限られた予

算の中で、着実に執行され、決算も適正に処理されている。

(2)予算計上の仕方が前年度主義のため、利用動機の変化に対応できていない。また事業内容によっては、市民に十分理解されていないのではないか。

3 民生費

(2)循環バス運行事業について
 運行の効果として市民満足度は低い。利用者の声を生かしてほしい。また乗車責任を課す協力を求める声もあった。

(1)情報セキュリティシステムについて
 情報の一元化及び情報システムセキュリティ対策の抜本的強化を図り、費用に見合う市民サービスを望む。

2 総務費

(4)GISシステムなど、庁内情報の共有を構築した部局間の連携を望む声があった。また、伊東市との姉妹都市提携50周年記念事業や、市民団体交流促進事業などが成果につながらないのは、部局間の情報が共有化されてない事が要因。更に連携を密にしてほしい。

(3)人口減少、激動する時代の流れに対して、見直しが必要な事業などスピード感を持った検討、対応をしてほしい。また、高齢化が進み社会福祉・高齢者福祉に対する費用が増えている。高齢者や子供を含めたすべての人が安心して暮らせるよう、きめ細やかな事業を進めてほしい。

4 土木費

都市計画道路を基幹として見直し、推進計画を明確にし、きちんと進めて欲しい。河川改修、橋梁保全等国・県と連携して積極的に進めて欲しい。

5 不用額について

不用額が多額であるという意見が多く聞かれた。特に福祉サービスでの不用額は少なくするべき。

6 特別会計について

霧ヶ峰の活用方法について、専門家を招いて地域、行政、観光業者、利用者を巻き込んで抜本的に議論する時期に来ているのではないかと。

《採決結果》

認定第1号、2号については討論があり、採決の結果、賛成多数で認定。他5会計は全会一致で認定。

議案第55号、56号についても、全会一致で可決および認定。

生活困窮者自立支援事業について、相談が多岐に渡り対応しきれない。解決スキルの向上が充分でなかったために、困窮する市民が多かった。スピーディーな対応を求める。

平成27年度 会計別決算一覧

(単位:円・%)

区分 会計別	歳 入			
	予算現額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
一般会計	22,879,171,000	22,393,039,273	33,918,421	269,773,626
特別会計	6,993,227,000	6,890,738,131	22,369,664	226,808,623
国民健康保険	6,245,731,000	6,143,470,228	22,231,564	219,501,423
霧ヶ峰リフト事業	57,931,000	40,581,477	0	0
奨学資金	10,920,000	8,954,986	0	0
公設地方卸売市場事業	62,018,000	64,476,961	0	0
駐車場事業	24,431,000	18,984,515	0	0
後期高齢者医療	592,196,000	614,269,964	138,100	7,307,200
合 計	29,872,398,000	29,283,777,404	56,288,085	496,582,249



審議状況

区分 会計別	歳 出				歳入歳出差引額
	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額 繰越明許費	
一般会計	22,879,171,000	21,292,755,375	93.1	694,991,000	1,100,283,898
特別会計	6,993,227,000	6,851,258,601	98.0	0	39,479,530
国民健康保険	6,245,731,000	6,138,556,283	98.3	0	4,913,945
霧ヶ峰リフト事業	57,931,000	40,581,477	70.1	0	0
奨学資金	10,920,000	8,592,878	78.7	0	362,108
公設地方卸売市場事業	62,018,000	53,947,252	87.0	0	10,529,709
駐車場事業	24,431,000	18,984,515	77.7	0	0
後期高齢者医療	592,196,000	590,596,196	99.7	0	23,673,768
合 計	29,872,398,000	28,144,013,976	94.2	694,991,000	1,139,763,428

代表質問



創生すわ
近藤 一美

6市町村合併について

問 諏訪地域4商工会議所会頭の6市町村合併の提言についての見解は。(平成16年10月4日実施の住民アンケートでは賛成42・94%、反対49・79%で反対が多かった)

答 経済界を代表する商工会議所からの提言であり、重く受け止めている。今後民意の広がりを見極め、他の首長と相談したい。

問 合併の問題は簡単にはいかないが、提言の灯を消してはならない。そのために一般市民と一緒に考える「合併に関するあり方検討会」といった組織を立ち上げる考えはないか。

答 財政面で有利な国の支援策の特例債が現在がないため、民意が

各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。

盛り上がるかどうかによる。従ってすぐに立ち上げる予定はない。

問 諏訪地域6市町村の合併が難しい場合、諏訪湖周2市1町の合併を検討する可能性はあるか。

答 そういった民意が高まるかどうか、見極める必要がある。

駅前再開発、駅橋上化について

問 民間開発会社の発表では整備が進み平成29年春着工、30年完成を目指すとのことであるが、市として関与は。

答 一部を残して開発エリアが大枠で確定したので、開発業者が9月末の地域住民説明会開催に向けて調整している。市としてのイメージテーマ「さわやかな風と翠のときめき」を考慮し、地元市民の要望を踏まえ交渉していく。

問 駅周辺市街地あり方検討会で、



再開発に向けて更地になったスワプラザ跡地

上諏訪駅の橋上化を研究していくという報道がなされたが真意は。

答 上諏訪駅橋上化に踏み切ったのではないが、現在の上諏訪駅がこのままで良いとは思わない。連続立体交差化の場合、何十年の歳月と費用が数百億円と予測され、茅野駅のような橋上駅の場合事業期間5年から10年、費用は数十億円規模になると予測される。今後、時間軸という考え方もあるので議論を深めていく。

問 開発によって、上諏訪駅の西

口と東口をもっと自由に行き来できるようにするのが市民の悲願であるが、進捗状況は。

答 よく承知しているが、簡単にはいかない。駅周辺市街地あり方検討会で議論を重ねていく。

区の課題について

問 駐在員制度の廃止について、区長懇談会で合意は得られたのか。

答 基本的に制度廃止の方向性について反対はなかった。

問 駐在員報酬がなくなると区の財源が厳しくなる区があるが、補てん策について検討しているのか。

答 区長懇談会でも補てんの要望が多く、区より出されたので、区運営の財政支援策として新たな助成策を導入する方向で検討している。

諏訪市消防団の快挙について

問 諏訪市消防団第7分団が、ポンプ車操法の部で県大会2連覇、小型ポンプの部で第8分団が第3位という快挙を達成したが所見は。

答 まさに快挙であり、諏訪市として誇りである。寒い時期から訓練を重ねてきた団員の努力に敬意を表するとともに、家族、他の消防団員、OBの方々、区長会を中心に区民、諏訪市の市民のご支援のためものと感謝している。今後のPR、団員の確保等について活用していきたい。



無所属の会
吉澤 美樹郎

.....
公共施設、今後の維持は
.....

問 今後の総合管理計画策定までの流れは。また、この計画の適用期間はどの位に設定しているのか。
答 現在は公共施設マネジメント推進部会を組織して、部局横断的に総合管理計画の策定に向け協議を重ねている最中である。また、計画の適用は10年先を見据えたものとなる。

問 現在の施設を更新等していくと多額の費用が発生すると試算されているが、対策は。



公共施設が集積する文化センター周辺

答 一例として施設の総量をどうするか議論を挙げる。予防保全型の維持管理を徹底し、施設の長寿命化を推進する等の対策により、財政負担の軽減、平準化を図っていききたい。

問 市民からの意見も施設の統廃合や機能の複合化が望まれている。市町村を越えて融通し合える施設等があると思うが、広域的に連携の可能性はあるか。

答 周辺市町村の持つ施設をそれぞれ補完し合い、有効利用する事は望ましい。それには広域での連

携が必要であり、市町村の理解、住民の理解が大切になる。課題は多いが今後の施設のあり方として取り組む事項だと考える。

問 他市町村の施設の予約をオンラインで一括して行えるシステムなどは構築できないか。

答 一つのIDで各市町村の施設の予約を行う事はシステム的には可能である。しかし個人情報相互利用が必要であるなど、各市町村の理解、合意形成が不可欠であり、現時点では難しい。

問 屋外施設であるグラウンドやテニスコート等に日除けとなる休憩所を設けて欲しいとの声があるが、整備は可能か。

答 現状は把握している。スペース不足や法的な問題により、新規設置が困難な場所もあり整備が進んでいないが、利用者の意見を聞きながら良い方法を研究していきたい。

.....
豊かな水辺環境を生かすには
.....

問 湖周サイクリングロードの基

本計画がまとまったが、今後の展開、実現に向けた課題等は。

答 諏訪市の整備対象区間は公園内となり、市単独事業では財源的に厳しい為、交付金の対象事業となるよう公園の長寿命化計画を立案し、整備に取り組んで行く。

問 流入河川では、近年カトギなどの植物の繁茂がひどく、水面が見えない所もある。住民からは浚渫を望む声も多いが、市からも要望、助言をお願いできないか。

答 カトギ等の撤去要望は毎年、県の予算編成の時期に地域要望書を添えて行っている。一部浚渫も行われているが、引き続き本年も強く要望して行く。



日本共産党
諏訪市議員団
井上 登

.....
リフォーム助成事業の継続
.....

問 経済効果の高い住宅リフォーム助成制度は、今年度が2期目の最終年度に当たるが、2期目の実績と好調の理由は。

問 延長された平成26年度から今年度7月までの累計は、申請件数987件、工事見積額10億743万円。この助成制度により潜在需要が掘り起こされたこと、申請手続きを請負業者がするため、利用しやすいことなどが理由として考えられる。

問 さらに継続の計画は。

答 経済効果は大きい事業ととらえているので、予算編成に向けて、市民、請負業者の要望等を聞きながら考えていく。

問 全国55の自治体が行っている店舗リニューアル助成制度を行う考えは。

答 商店街の活性化とまちの賑わいの創出につなげるため、平成28年度に空き店舗を改装して事業を行う場合の補助制度を創設した。現在営業している店舗をリニューアルする場合の補助制度を、市民要望があるのか検討しながら考えていきたい。

交差点改良

問 高島4丁目交差点は、1日の

通行車両が2万台をこえる。右折レーンの設置要望が実現し、県道諏訪辰野線高島工区の拡幅工事の整備と一体に進められているが、西友前の混雑もあり、完成が待たれている。建設スケジュールは。

答 県との協議の結果、湖岸武津線整備事業に合わせて県が事業主体になり実施することとなった。本年度は、交差点改良計画に係わる地権者の皆様に事業計画にご理解、ご協力を頂けるよう協議をしている。右折レーンの設置事業は、平成30年度年着工、32年度完成を目標している。

駅橋上化

問 上諏訪駅橋上化の検討をする考えを明らかにしているが目的は。

答 橋上化については研究する段階。事業化すれば長い期間の取り組みが必要になる。将来を見据えた変化に対応する視点を取り入れたい。

問 橋上化する場合の費用負担は。JRとの話し合い状況は。

答 JRとの協議はまだ行っていない。事業化した場合の費用負担



上諏訪駅

は、JRを含め国や県と協議して進める。

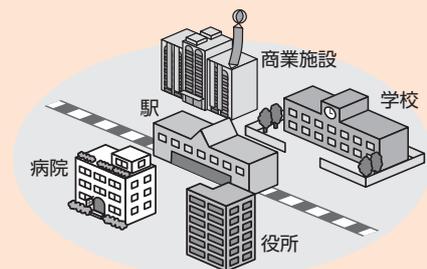
上下水道料金の分離

問 上下水道料金の検針は2カ月ごとになっているが、家族人数が多い場合、支払額が大きく、負担が大変。分離できないか。

答 支払困難の場合は個々の状況に応じて相談に乗っている。分離は難しい状況である。

【用語解説】 コンパクトシティ

街の中心部に住宅や行政機関をはじめ公共施設、商業施設、病院、公共交通機関等を集約させた都市のこと。概念としては、規模的に住民が歩いて過ごせる都市。想定されている人口減少社会の到来や国・自治体の財政難で、広範囲にわたる社会基盤整備が難しくなってきた今日において、都市機能を一定の範囲に集約することにより、公共投資を効率化した持続可能な都市形成を目的に、市街地活性化も加味した都市である。



一般質問



金子 喜彦

諏訪湖・流入河川の環境維持について

問 貧酸素発生原因と調査、改善、対策は。

答 貧酸素は、水中の溶存酸素が欠乏して魚類の生息に影響がある状態。溶存酸素は1ℓ当たり3㎍が目安だが、夏季の諏訪湖心の下層ではそれを下回る。湖底の植物の残骸（有機物）が微生物に分解されると、沿岸部のヒシ帯で水が停滞することが確認されている。調査は月1回湖内3か所で35項目を調査するが、CODと全窒素は達成していない。対策としてエコファーマー認定、環境保全農業の推進、沈殿ピットによる3㎏の土砂掘削、県の第7期の諏訪湖水質改善計画を定め、国環境基準の水

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

域類型ごとに審議する予定。

問 ワカサギの大量死の状況とヒシの除去は。

答 7月26日に諏訪湖でワカサギを中心に鯉、フナが大量死した。7月末までに2・5tを回収。原因は特定されておらず、魚等の資源調査データも含め、様々な角度から科学的に原因と対策を検討していく。シジミの実証実験は、砂入れのシジミは大きく、今後は中門川河口付近で続ける。ヒシは諏訪湖面の11%を占める。新川、武井田川、鴨池川などの流入河川にも繁殖している。今年6月14tを除去。7月から9月上



初島周辺のヒシ

旬の種が落ちる前に、浚渫にかわる水質浄化工法で除去する。費用は5千万円で500tを予定している。新川は南真志野区民が抜き取り除去をしている。

問 平成28年河川愛護活動（7月）についての市民の理解と活動の取り組みは。

答 昭和49年より国土交通省の主管により実施されている。諏訪市は草取り、ゴミ拾い等の清掃、外来植物の駆除で県の活動に協力している。



山田 一治

道路整備とまちづくり

問 国道20号バイパス建設促進について、バイパス建設促進期成同盟会の国、県への積極的な要望活動の成果が実りつつある。進捗状況は。

答 関東地方小委員会において「山側ルート」でバイパス整備案が了承され、国の対応方針決定を

待つ段階まで来た。市としても早めに情報収集をし、地元の情報共有、合意形成に努めていく。

問 国道20号バイパス

へのアクセス道路整備や、将来のまちづくりを考慮した整備計画の効果については。

答 市民団体や行政が実施しているまちづくり事業への側面的支援や、地域活性化への下支えとなるインフラ整備だと認識している。

児童クラブの拡大強化

問 放課後児童クラブの現況と運営については。

答 保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生を対象に、適切な遊び生活の場を提供して児童の健全な育成を図ることを目的としており、市7校に12クラブを開設している。登録児童数は704人。支



8月4日 国道20号諏訪バイパス建設促進要望

援、配慮が必要な児童の利用が増えている。クラブ数の増も考慮中。

問 児童クラブへの指導員の配置状況は。

答 現在、常勤職員と指導員合わせて45名で指導している。集団生活の中で生じる課題もあり、できる限り個別の対応ができるよう指導員の確保に努めるとともに、市関係職員が指導員委員会を定期的開催し、運営上の課題について共有して検討をしている。また、県主催の児童クラブ指導員の人材育成や、資質向上にも努めている。発達障がい児や、気にかかる児童への対応について、専門的知識の習得と指導員の育成、加配も必要。



奥野清

心身の成長やIQに影響する朝ごはん

問 子どもの貧困に対する本市の状況は。

答 プライバシー保護の観点から、

公に論ずることはできない。全国的にみられることだが、本市にあっても例外ではない。

問 子どもの貧困対策に向けた取り組みは。

答 調査結果から、朝食を食べている子どもほど学力が高いことが歴然としている。「早寝早起き朝ごはん」を大事に考えた指導をしている。

子どもの健康に目を向けて

問 学校医の提携状況と健康診断項目は。

答 内科、外科、歯科、眼科、薬剤師、保健師等68人。診断項目は結核、心臓病、口腔、視力等、学校保健法に定められている11項目。

問 健康診断で異常が発見された場合の対応は。

答 保護者に治療を促す通知をする。重い病気と思われる場合は、家庭に向き状況を報告、家庭責任において治療を要請する。

問 治療後の確認と治療状況は。

答 学校で治療状況の管理はして

いるが、一例をあげれば、虫歯治療については未処置状況が30%を超える。学校では、子どもの将来を考え治療促進に努めている。

飯島橋の解体は

問 今年度

飯島橋の撤去が計画されているが、取り壊し時期と期間は。

答 9月入札、11月頃から解体着手、28年度内完工予定。



取り壊される飯島橋

若年層健康診査（新規事業）について

問 対象者と検査項目及び受診状況は。

答 19～39歳の市民を対象とする。検査項目は血液、尿検査等で肝機能、尿酸、腎機能、貧血、糖尿病等。265人が受診している。市民の生活習慣意識の高揚を目的に、今後も拡充継続実施していく。



小松孝一郎

障がいのある方と共存共栄できる社会を目指して

問 障がいのある方と共存共栄できる社会について市長の見解は。

答 分け隔てなく人格や個性が尊重されるべき。障がいのある方は私達そのものとの認識が必要。共存共栄は福祉社会の基礎。

問 子供の障がいの早期発見・早期療育の施策は。

答 巡回支援や発達支援相談員が保育所等を巡回し相談を受け支援を行い、専門機関等へつなげる。乳幼児健診時に相談支援ができる体制を整えている。保護者同意のもとに子育て支援シートを作成、情報共有をし、継続支援できる仕組みがある。連携が課題。

問 保育園での障がい児保育の状況は。

答 入所希望は年15件程。状況を確認し、保護者と十分相談して総

合的に判断している。サポート保育士を配置している。

問 特別支援学校の子供が地元小中学校に副次的に籍を置く副学籍制度の状況は。

答 地元の子供と交流を進めるために制度を作った。数名程度の利用。今後広がると思う。保護者の負担もあり環境整備は行政の課題。

要望 障がいのある子供にとって、社会経験や人間関係を豊かにするためにも社会との交流は大切。健常児にとっても交流を通して障がいを知り、相手を思いやる気持ちを育むことが大切。お互いを認め合い障がいのある方も社会参加でき活躍できる真の福祉社会を目指してほしい。

上諏訪駅東口の開発について

問 上諏訪駅のイメージテーマの対象エリアは。テーマ具現のチェックは。

答 駅舎や駅周辺の広い範囲を想定。業者と設計段階で意見交換を行い、ふさわしい計画になるよう

にチェックしたい。

問 市民の意見を集約するワークショップの進め方は。

答 建物構想が固まった時点で想

定。懇談会参加者、若者、利用者らを対象に検討している。

要望 駅前開発は市民の重大な関心事。地域の人や高齢者弱者等、声なき声に耳を傾けてほしい。福祉社会を目指す拠点にしてほしい。



伊藤 浩平

問 市長就任後1年4ヶ月が経ち、市民は実行・成果を求めている。市長の自己評価と市民の捉え方が違うのではないか。

答 駅前商業地については、市の積極的関与が評価されている。外部評価を公約として取り入れている。



駅前諏訪プラザ跡地

る。市民に見える形にするよう努力していく。

問 検討段階での状況を見える化できないものか。

答 デリケートなものもあり、なかなか公表できない部分がある。検討状況を公表できるものかどうか、どういった事実が適正なのか、考えていきたい。

子どもリフト券を無料にしては？

問 霧ヶ峰

スキー場をファミリーゲレンデに特化させ、子どもリフト券を無料にしてはどうか。



霧ヶ峰スキー場

答 リフト

会計の健全化、ファミリーゲレンデとしてどのようにしていくのか、関係機関と協議する際にはぜひ参考にしていきたい。

問 今後の霧ヶ峰高原の活用について市の考えは。

答 諏訪エリアの周遊には霧ヶ峰が必要不可欠である。霧ヶ峰高原の価値を高め、今後継続的な観光客の滞在先として活用できるように考えたい。

情報発信としてSNSの開設準備へ

問 市ホームページの検索機能が使いづらい。また情報がどこにあるのか分かりづらい。対応を。

答 記事作成の段階で職員が検索キーワードを登録していないので、検索結果にヒットしないのが現状である。使う側に立って検索キーワードを登録するよう、再度指導・改善をしていきたい。

問 諏訪市、市長などの情報発信としてのSNS活用についての考えは。現在の検討状況は。

答 昨年の市長改選後、シティプロモーション等の動きがあり、SNS活用についてはガイドラインを作成する準備をしている。運用方針を定めた上で可及的速やかに対応したい。



予算案説明資料

問 諏訪を周遊していただくようロケ地を活用していく考えは。

答 ロケ地MAPを作成し、周っていたくよう展開はしている。SNS、メディア、民間企業を巻き込んで活用していきたい。



小林 佐敏

予算編成過程の情報公開は広がっている

問 予算編成過程の情報を公開するか。

答 本市と同等規模の自治体でも、査定段階ごと総額の動きを公表している市はあり、諏訪市でも可能である。一方、国の歳入計画もあり、常に数字が変化する中、行き

届いた情報に「責任が持てるか」、情報を正しく「受け取ってもらえるか」に気を配る必要もある。10月の予算編成会議は公開されているので、遠慮なく見て、確認してもらえればありがたい。

問 市民満足度調査の満足度の低い事業へ予算を反映させる優先順位の付け方は。

答 外部評価的な位置づけと、市民からの直接的な意見集約が出来る指標として活用。財源の状況、事業の優先度を総合的に判断する一つの材料として予算編成に反映している。

生涯学習やボランティア活動した〜い！してほ〜い！

問 文化芸術など個人が主の「生涯リーダーバンク」の活用方法は。

答 文学、俳句・短歌から音楽や華道、絵画に手芸、料理、環境保全に歴史など、幅広いジャンルが登録された冊子「生涯リーダーバンク」を作成。700部が市内小中学校や公民館に配布され、年2回広報にも利用案内が掲載されて

いる。

問 福祉分野の団体が主の「ボランティア市民活動センター」の活用法は。

答 ボランティア市民活動センターは社会福祉協議会に委託している。ボランティア活動情報や支援などの市民からの問い合わせは、ボランティアセンターで一括して対応している。



牛山 智明

市施設の不審者侵入対策

問 障害、介護4施設については。

答 警備会社との契約による通報システムがある。今後は、警察と連携し、訓練や講習会を計画する。

問 保育園、小学校、中学校の不審者侵入対策は。

答 それぞれ対応マニュアルを作成し、訓練を年数回行っているところもある。また、「さすまた」を使用した配備、実地研修を実施

している。



さすまた使用例

問 庁舎の不審者侵入対策は。

答 庁舎については、具体的な対策はしていない。今後学校などのマニュアルを参考に訓練、実地訓練、研修を行う予定。

道路小規模工事について

問 20万円未満を50万円未満に変更する考えは。

答 本市の20万円未満で請書の作成を省略できる基準は、県内レベルの状況と比較しても、厳しくないと考えており、現段階で変更することは検討してない。

問 学校で昼休みに10分間の仮眠を取り入れる考えは。

答 健康上も集中度、効果の高まることは理解できるが、現状では時間のゆとりがない状況。研究はしていきたい。

問 可燃物ステーションの現況は。
答 他地区からの、あるいは他地区への搬入は、年数回あり、排出者が特定出来れば、指導を行っている。燃やすごみの減量化は目標を達成しているが、分別に無関心な少数派に対する啓発を行い、実践していただくことが大きな課題となる。

問 「ポケモンGO」も含めて、自転車事故対応策は。

答 「ながらスマホ」が社会問題化している。学校を通じてルール、安全教育を指導している。



増澤 義治

特殊詐欺被害対策について

問 特殊詐欺における最近の傾向と手口は。

答 全体の被害件数は増加しているが、1件当たりの被害額は小口化している。消費生活センターに寄せられる相談では、医療費等の還付金詐欺の問い合わせが多くなっている。

問 被害を防止するためには、電話対策が非常に重要だが、市としては何か対策を講じているのか。

答 迷惑電話防止機器設置補助金で、市内在住者で対象機器を購入した人に、5千円（上限）を交付している。今のところ購入者はなし。

問 地域で発生している犯罪を認識させ、防犯意識を高めていく必要があると思うがどうか。

答 出前講座の実施や啓発物の配布、高齢者見守りネットワーク連絡会で会員との情報交換や学習会を開催している。さらに、年金支給日の金融機関店頭啓発や防災無線放送による注意喚起も行っている。

豪雨対策について

問 砂防関係事業の進捗状況は。



清水町の内水排除ポンプ

答 県で計画している市内の新設堰堤は、すべて完成している。

問 釜口水門の事前放流を、県はどのように考えているか。

答 漁業や遊覧船の就航等の観光面への大きな影響を及ぼすので、予備放流は実施しない考え。

霧ヶ峰の観光とスポーツ施設について

問 今後の霧ヶ峰スポーツ施設の考え方は。

答 老朽化に伴う施設の不便さの解消に合わせ、霧ヶ峰活性化のためにも施設整備を継続したい。

問 現在のスノーマシンは非常に古い。最新のマシンに切り替える予定はないのか。

答 今後の温暖化の影響、魅力あるゲレンデの検討やリフト会計健全化等、霧ヶ峰スキー場の全体経営を加味する中で、切り替えを検討していきたい。



森山 博美

最終処分場はどこに！

問 最終処分場の建設予定地は決めたか。

答 丁寧に説明し交渉を行っており、まだ発表の時期に至っていない。「ecoポッポ」の処分灰は、7社に委託しており、諏訪市の建設する最終処分場のみで受け入れる訳ではない。時期が来たら速やかにお知らせしたい。

変わる防災無線！避難所は？

問 防災無線のデジタル化で変わる事は。無線以外の周知方法は。

答 デジタル化で音質が良くなり、ハウリングなどもなくなる。防災

無線の内容に関しては、防災メール（要登録）LCV、LCVFM、防災電話で確認が可能。メディアで確認が取れない場合は、隣組、消防団などで周知し、避難につなげる。



新しく変わる防災無線

問 急傾斜地に避難所がある場合、避難できない住民の避難所として旅館組合と協定を締結していると聞いたが、それ以外で協定を締結しているところはあるのか。

答 民間企業なので、すぐにそこへの避難は出来ないが、JAやおぎのやドライブイン等とも締結している。

要望 多くの企業と協定を結び、急傾斜地の避難所へ避難が困難な方への周知をいただき、市民の安心につなげてほしい。また、避難時最初に配給される物品の中

に、風呂敷をお願いしたい。避難所の物品にマウスウォッシュや消毒用ティッシュも備えて欲しい。

.....
どうなる学校！
.....

問 小中学校再編基本構想検討委員会の進め方、委員の人選・構成は。開催は公開するか。回数と答申時期は。

答 校長など学校関係者、保護者、有識者など約20名で構成し、概ね月1回公開。答申時期は来年度半ばの予定。

要望 子供を持つ親はとても不安を抱えている。透明度ある対応で、スピーディーに行ってほしい。



廻本 多都子

.....
子どもたちの居場所づくり
.....

問 放課後児童クラブは6年生まで利用可能となり、夏休み等の短期の利用も可能となった。利用者は増加したと思うが、指導員、部

屋、用具等は足りているか。現状と今後の課題は。

答 7校12クラブで、利用者は7月末で700名以上と増えている。指導員の配置基準は1クラブ2名だが、45名で対応している。

問 基準以上の指導員配置をしても、高学年となると身体も心も成長が著しい。問題はないか。

答 子どもと保護者の意識の違いがある。子どもの安全第一で指導員確保の努力をしている。

問 児童センターやふれあいの家の移転等もあるが、「↑（あげ）すわ」の高校生の居場所はどうか。



↑（あげ）すわ（精進湯2階）

答 閉鎖は高校生もわかっていた。自主性に任せてきた。なんでも用意するのがいいこととは思わない。与えられた環境の中で工夫し、何かを生み出すことに価値がある。

要望 公共施設見直しの中で居場所の確保をしてほしい。

.....
障がい者への公共施設・道路などの整備
.....

問 視覚障がい者のために、音の出る信号や点字ブロック等が整備されている場所は。

答 公共施設以外の道路では、エプソン前、湖岸等に整備されている。

問 災害時の対応では、先日福祉避難所などで避難訓練があったが、取り組みは。

答 防災訓練に参加されたのは障がい者4名と2家族。相談窓口を設け、希望を聞いた。慣れない場所や集団が苦手な人は、広い避難所ではプライバシーが保てない。バリアフリーが必要であると認識する。様々な意見が出されたので、集約し検討していく。

《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

○…賛成 ×…反対 なお、議長（宮下和昭）は採決には加わりません。

区分	番号	件名	委員会結果	井上登	近藤一美	増澤義治	牛山智明	吉澤美樹郎	小松孝一郎	金子喜彦	伊藤浩平	森山博美	廻本多都子	山田一治	小林佐敏	水野政利	奥野清
認定議案	1	平成27年度諏訪市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	2	平成27年度諏訪市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

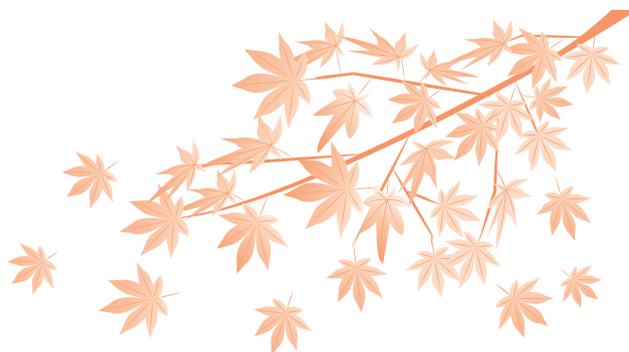
《全会一致で可決・採択された案件》

- 報告 第2号 平成27年度決算に基づく財政健全化判断比率及び公営企業資金不足比率の報告について
第3号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
第4号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 議案 第52号 諏訪市手数料徴収条例の一部改正について
第53号 諏訪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
第54号 諏訪市清掃センター条例の全部改正について
第55号 平成27年度諏訪市水道温泉事業会計利益の処分及び決算の認定について
第56号 平成27年度諏訪市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
第57号 市道路線の廃止について
第58号 市道路線の認定について
第59号 工事請負契約をするについて
第60号 平成28年度諏訪市一般会計補正予算（第2号）
- 認定議案 第3号 平成27年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計歳入歳出決算認定について
第4号 平成27年度諏訪市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について
第5号 平成27年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
第6号 平成27年度諏訪市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について
第7号 平成27年度諏訪市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 陳情 第26号 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書
- 議員議案 第6号 意見書の提出について（国に対する私立高校への公費助成に関する意見書）
第7号 意見書の提出について（長野県に対する私立高校への公費助成に関する意見書）

《議員議案》

2件の意見書を関係行政庁に提出しました

- 国に対する私立高校への公費助成に関する意見書
- 長野県に対する私立高校への公費助成に関する意見書
私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を求めるもの。





意見交換会の内容をまとめた報告書を推進機構側に手渡しました

「諏訪圏ものづくり推進機構」との意見交換会について

諏訪市議会は10月26日、諏訪圏ものづくり推進機構に対して、7月20日に実施した「意見交換会」の内容をまとめ、宮下議長と議会のあり方検討会小林座長が代表して報告書を提出した。

意見交換会は、市議会議員15名と推進機構15名が参加。「魅力ある諏訪地域の創造」について、産業の柱である「ものづくり」で「ひとづくり」をテーマに、活発な意見交換をおこなった。今後、産業振興策を企画する人材の育成や、「諏訪圏広域」で取り組むことが必要との認識で双方が一致した。

市議会として、近く行政が取り組むべき課題について金子ゆかり市長に要望し、定例議会の代表質問・一般質問を通じて、産業振興施策のさらなる充実を求める意向である。

12月定例会は、11月28日(月)招集予定です。詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。

議会を見学しよう

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。

議会をLCVで見よう

諏訪市議会では、本会議をLCVの「かりんちゃんねる」で生中継しています。また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

12月定例会のテレビ中継日程(予定)

月日	会議
11月28日(月)	提案説明
12月5日(月)	代表・一般質問
12月6日(火)	一般質問
12月7日(水)	一般質問
12月13日(火)	委員長報告、採決

※中継日程は変更になる場合があります。

議会に参加しよう

議会に対して陳情書等を提出することができます。陳情書等の提出は、11月18日(金)正午までです。提出方法など、詳しくはお問い合わせください。

議会事務局

TEL 0266・53・0261

編集後記

今年の夏は連日暑い日が続き、台風やゲリラ豪雨が全国に大きな被害をもたらした中、残暑激しい9月議会が開会されました。甚大な被害をもたらした九州や北海道の各地の方々には、御見舞いを申し上げます。

市においては大きな被害はなく、福祉避難所等も含め防災訓練を行い、今後には生かす取り組みもされているところです。昔からよく、備えあれば憂いなしといわれ、いざという時に慌てないようにと訓練を行うのですが、想定外のことがあるのが災害です。地域の絆が重要な役割を果たしている今、皆さんには感謝します。

廻本多都子

議会だより編集委員

委員長 奥野 清
副委員長 井上 登
委員 近藤 一美
委員 吉澤美樹郎
委員 廻本多都子